

# 継続的に授業改善に取り組む教員集団づくり

— メンターチームのマネジメントを通して —



東広島市立平岩小学校  
河田 幸法

※本資料中のイラストには、Microsoft Copilot(画像生成機能)にイラスト作成指示を出して、作成したものが含まれます。

- 1. 主題設定の理由**
- 2. 研究の基本的な考え方**
- 3. 取組の実際**
- 4. 研究の分析と考察**
- 5. 研究のまとめ**

# 1. 主題設定の理由

教員の経験の年数の均衡が崩れ始め、先輩教員から若手教員への知識・技能の伝承を図ることができない状況があり、継続的な研修を充実させる必要がある

引用: 中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)」(平成27年)



教師が自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける

引用: 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」(令和3年)



継続的に授業改善に取り組む教員集団づくり

# 1. 主題設定の理由

## 所属校の現状

管理職や主任を中心に組織づくりができており、授業研究に組織的に取り組んでいる

経験の浅い教員が半数という職員構成だが、時間的なゆとりがなく、先輩教員の技術を経験の浅い教員に伝える機会が減っている



継続的に授業改善に取り組む教員集団づくり  
—メンターチーム4のマネジメントを通して—

## 2. 研究の基本的な考え方

### 主題 継続的に授業改善に取り組む教員集団づくり

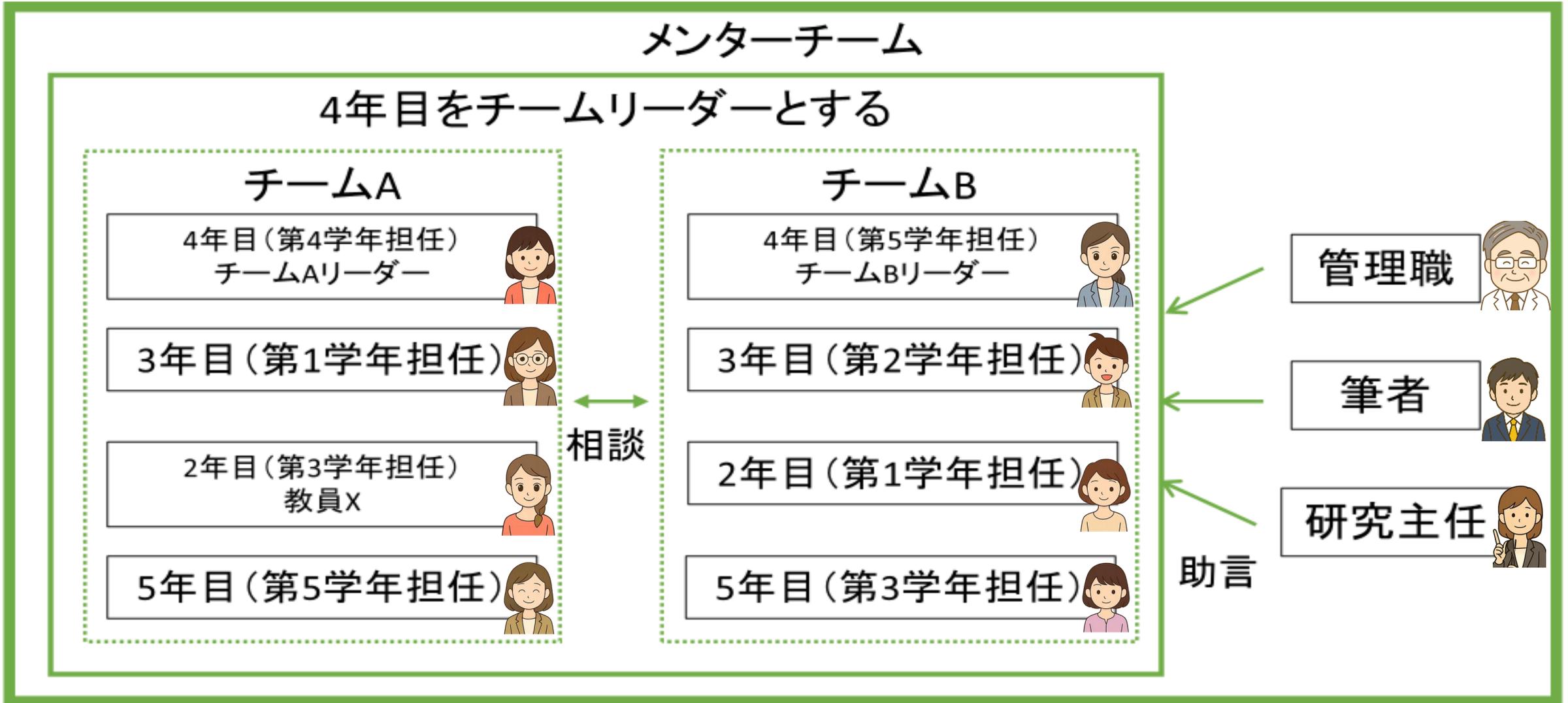
新しい社会で活躍できる資質・能力を育成するために授業改善を継続的に行うことが重要である。これらの取り組みを支援するものとして校内研修や授業研究などの教員研修があり、教師が効率的に研修しながら必要な力を身に付けることができる実践が求められている。

林誠一・成瀬喜則(2021):「授業改善のための取り組みと教師教育のあり方について」富山大学人間発達科学部紀要 第15巻第2号 p.129

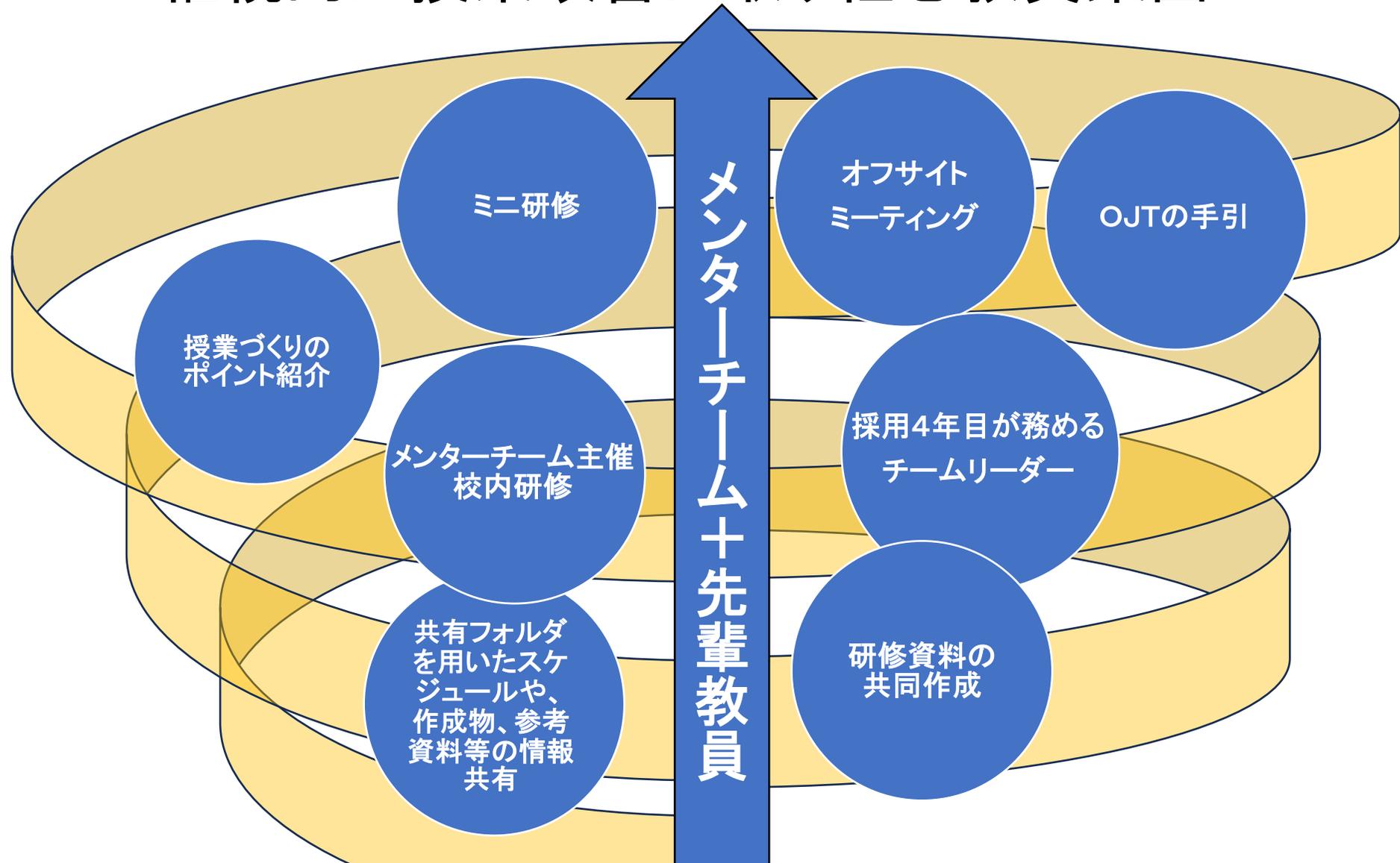
### 副題 メンターチームのマネジメントを通して

## 2. 研究の基本的な考え方

### 平岩小学校版メンターチームの組織図

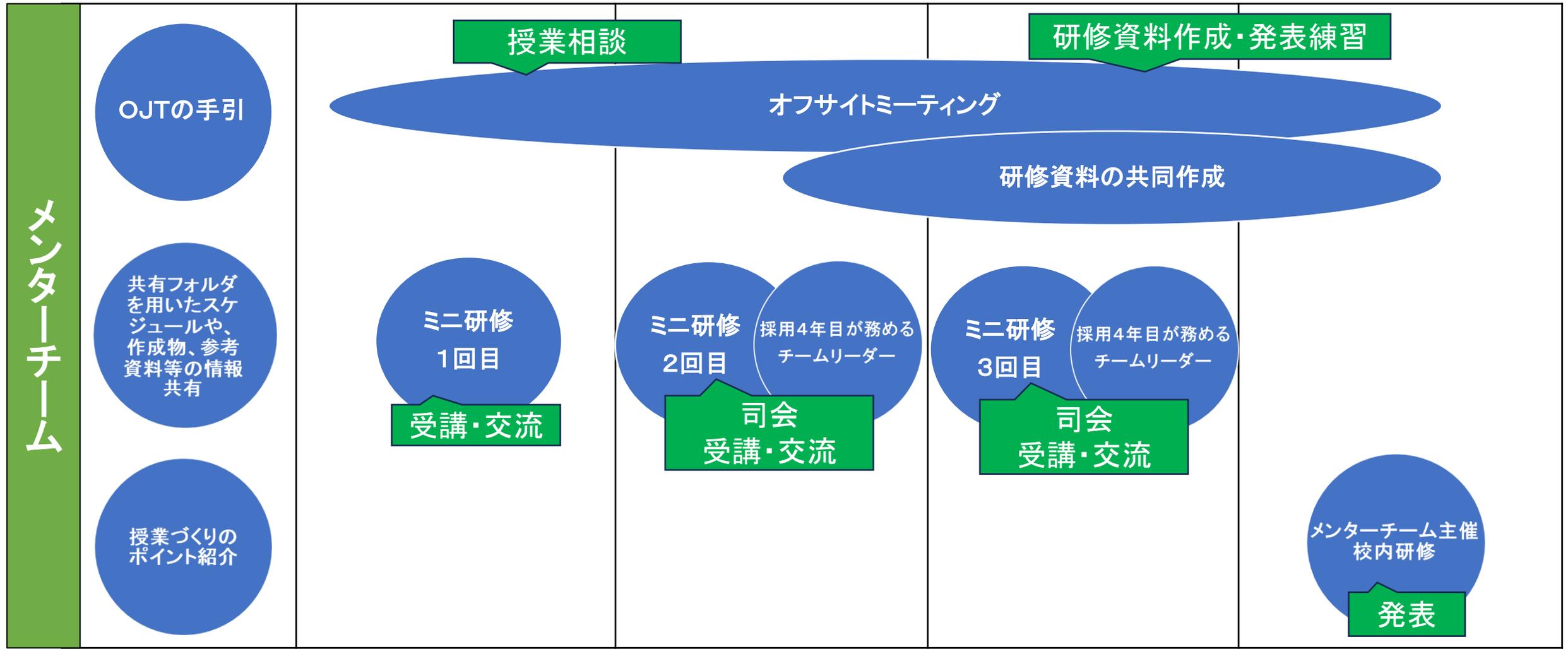


# 継続的に授業改善に取り組む教員集団



・学校での各種活動の「見える化・見せる化」、評価(ほめる)の場づくり、心理的安全性

# メンターチームの取組の流れについて



### 3. 取組の実際

ガイダンス(11月6日)

全教職員で研究の概要を共有

- ・ 所属校の今年度の重点目標である「主体的・対話的で深い学びを創る授業実践の充実」に向けて、教材研究や授業改善、研修を通して経験の浅い教員の授業力を高める
- ・ OJTを取り入れた研修モデルを提案し、所属校の教員に広める



### 3. 取組の実際

授業づくり  
のポイント  
紹介

## 授業の課題を共有



採用5年目  
第5学年担任

採用4年目  
第4学年担任

採用3年目  
第1学年担任

採用2年目  
第3学年担任  
教員X

授業の課題(チームA)  
思考を深めさせる問いについて



採用5年目  
第3学年担任

採用4年目  
第5学年担任

採用3年目  
第2学年担任

採用2年目  
第1学年担任

授業の課題(チームB)  
社会科授業の学び合いにおける  
ファシリテーションの在り方

### 3. 取組の実際

ミニ  
研修

ミニ研修1回目(11月14日)

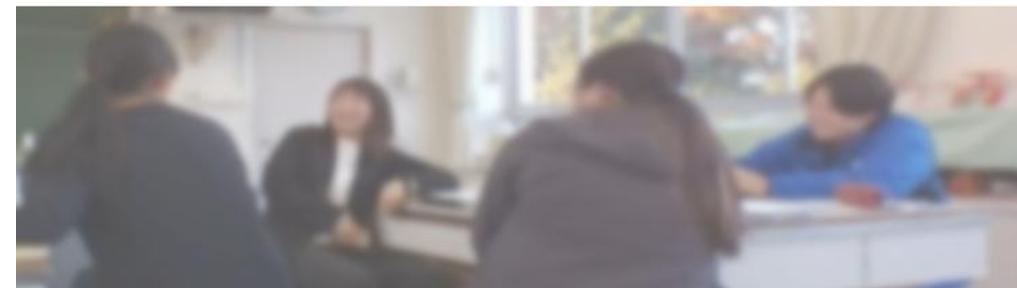
参加人数11名

- ・悩みの交流
- ・筆者によるメンターチーム  
主催校内研修の説明

メンターチームが三つのエチケットを共有して心理的安全性の基で、意見交換を行いやすい雰囲気醸成された

#### エチケット

- ① 失敗をおそれずやってみよう
- ② 考えを楽しく聞こう
- ③ 相手の話を受け入れよう



学年の垣根を越え、若手が楽しそうに話をしていたね

校長

### 3. 取組の実際

ミニ研修2回目(11月28日)

参加人数10名

司会 チームAリーダー

・研究主任による板書の研修

採用4年目が務める  
チームリーダー

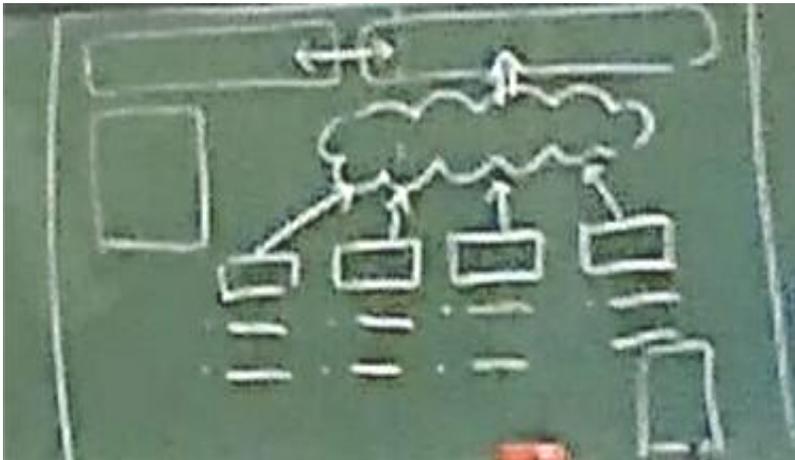
共有フォルダ  
を用いたスケ  
ジュールや、  
作成物、参考  
資料等の情報  
共有

ミニ  
研修

研究主任をゲストティーチャー  
として、構造的な板書の仕方の  
紹介を受けた

日々の授業について、意見や  
悩みを交流したり、筆者に質問  
したりした

メンターチーム主催校内研修に  
向けて、共有フォルダを基にし  
て、資料の交流を行った



### 3. 取組の実際

ミニ研修3回目（12月16日）

参加人数11名

司会 チームBリーダー

・理科専科の教員による板書の研修

採用4年目が務める  
チームリーダー

ミニ  
研修



採用4年目  
第4学年担任  
チームA

板書は教員から子供への贈り物であり、子供が思考の流れを整理するサポートになることを学びました。

### 3. 取組の実際

## オフサイトミーティング

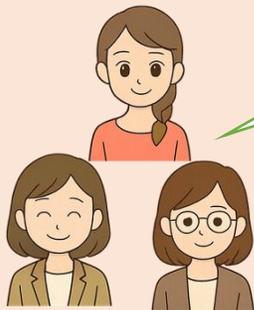
放課後や空き時間等のちょっとした時間に、職員室の作業スペース等で、授業改善や日常業務について話し合ったり、共同作業したりする場である。

スケジュール表を見たら、みんな16時が空いている。



授業の話や資料の作成をしたいので、金曜日の16時に話ができますか？

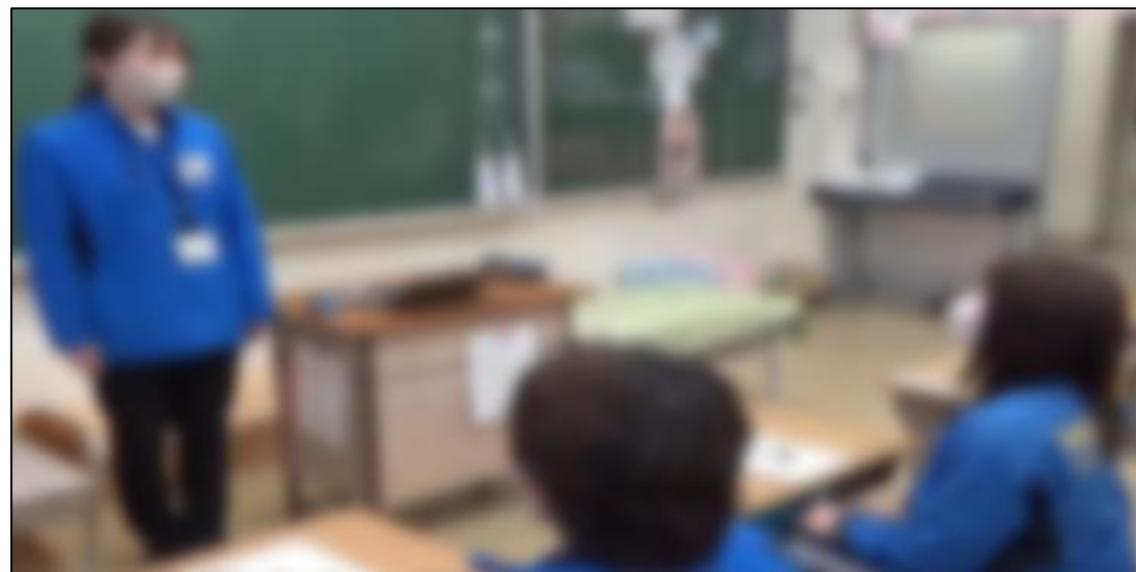
はい、大丈夫です。



研修資料の  
共同作成

オフサイト  
ミーティング

メンターチーム主催校内研修が近づくと、職員室だけでなく、教室でもオフサイトミーティングが開催された



### 3. 取組の実際

メンターチーム  
主催校内研修

メンターチーム主催校内研修(12月24日)  
参加人数23名 グループ数5

- ・メンターチームの発表
  - A「思考を深めさせる問いについて」
  - B「社会科授業の学び合いにおけるファシリテーションの在り方」
- ・協議（全教職員）
  - ①自分自身の授業改善における問題・関心
  - ②メンターチームの発表のテーマでの自分自身の実践例

### 3. 取組の実際

チームB「社会科授業の学び合いにおけるファシリテーションの在り方」についての動画撮影



### 3. 取組の実際

メンターチーム  
主催校内研修

①自分自身の授業改善における問題・関心や②メンターチームの発表のテーマでの自分自身の実践例を個人で考えたのちに、グループで交流し、全体発表を行った



児童の実態から、問いを考えるなど、自分の授業を改善していくようにしています。

## 4. 研究の分析と考察

1 メンターチームのマネジメントは、継続的に授業改善に取り組む教員集団づくりに有効であったか？

- ・ マネジメントの取組の有効性を問うアンケート

2 継続的に授業改善に取り組む教員集団づくりができたか？

- ・ OJTの取組時の具体的な姿（インタビュー）
- ・ 個人の変容（インタビューとGoogleフォーム）

## 4. 研究の分析と考察

### メンターチームのアンケートから

継続的に授業改善に取り組む教員集団づくりのために有効だった、OJTの取組を三つ選んでください。(n=8)

ア 共有フォルダを用いたスケジュールや、作成物、参考資料等の情報共有	5
イ 授業づくりのポイント紹介	4
ウ 研修資料の共同作成	1
エ メンターチーム主催校内研修	1
オ ミニ研修	6
カ オフサイトミーティング	3
キ 採用4年目が務めるチームリーダー	2
ク OJTの手引によるマネジメント	2

継続的に授業改善に取り組む集団づくりには  
ア・イ・オの取組が特に**有効**だった

## 4. 研究の分析と考察

メンターチームから見た **継続的** に取り組むために有効だった取組の理由

共有フォルダ  
を用いたスケ  
ジュールや、  
作成物、参考  
資料等の情報  
共有

「スケジュールを共有して予定を合わせることができました。情報を共有して情報を絞ったり、みんなで確認したりして**効率的**にできました。」

### 研修の効率化

授業づくり  
のポイント  
紹介

「普段の自身の授業づくりの**参考**になりました。ベテランの先生の授業観察の**ポイント**になりました。」

### 授業改善の視点を明確化

ミニ  
研修

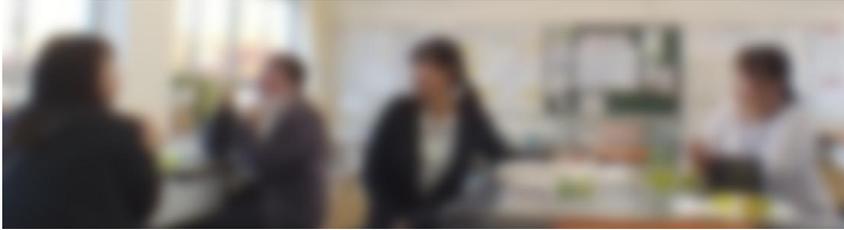
「自分で研究したくてもなかなかできないので、**身近な校内の先生から教えてもらったり、同僚と考えたりする時間をとれてよかったです。**」

### 教員同士の学び合いの風土

## 4. 研究の分析と考察

チームAリーダーの具体的な姿から

肩の力を抜いて日々の授業の悩みを話し合う



情報共有を行い、他の教員の学びを自分の学びに生かす



継続的に**授業改善**に取り組む姿



採用4年目  
第4学年担任  
チームA

日々の授業のために、教材研究を怠らず、学びを深める発問や構造的な板書を行いたいです。ファシリテーションの在り方も意識をして授業を行いたいです。

## 4. 研究の分析と考察

チームBリーダーの具体的な姿から

日々の授業改善で学ぶ  
ミニ研修で学ぶ

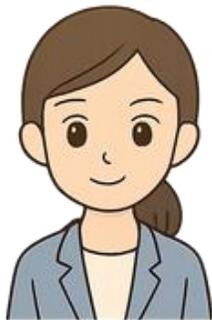


メンターチーム主催校内研修で学ぶ



今後の授業改善に生かす  
学びを後輩の教員へ広げる

継続的に**授業改善**に取り組む姿



採用4年目  
第5学年担任  
チームB

私自身も今まで悩んでいた板書や発問のことを色々教えていただいたので、それをこれからの授業に生かしたり、後輩の教員に教えたりしたいです。

## 4. 研究の分析と考察

### 先輩教員の姿から

メンターチームの教員が日々の授業で課題に感じていることを先輩教員に相談する



ミニ研修で先輩教員がメンターチームの教員に技術を伝える



先輩教員から学んだことをメンターチームの教員が日々の授業で実践し、その後、先輩教員と対話する



メンターチーム主催校内研修で、先輩教員とメンターチームが授業改善の実践例を対話する

オフサイトミーティングを見た先輩教員がメンターチームの教員に話し掛け、授業改善の対話をする



理科専科の教員  
退職後再任用



研究主任  
採用15年以上



第2学年主任  
採用15年以上

集団で継続的に授業改善に取り組む姿

## 4. 研究の分析と考察

個人(教員X)の変容から

昨年度

昨年度は筆者と同じ学年部であり、1年目は初任者研修や初めての学級経営に注力したため、授業改善よりも学級経営の話が多かった。

取組後



採用2年目  
第3学年担任  
教員X  
チームA

教科によっても視点を变えて発問する必要があることが分かったので、教科ごとの特性も生かしながら発問を考えていきたいです。また、チームBで教員の立ち位置も学習できたので、どのように発言をすると、児童が主体的に考えることができるのか探っていきたいです。

## 4. 研究の分析と考察

個人(教員X)の変容から

ミニ研修2回目終了後

研究主任の社会科の下から上にまとめていく板書は、これからやってみたいです。他に授業改善で**どんなことを行えばよい**ですか。



採用2年目  
第3学年担任  
教員X  
チームA

ミニ研修3回目終了後

同じ物事でも教科ごとに多様な捉え方をするため、各教科に分けて思考を深める発問に違いがあるという**解釈**であっていますか。

「主体的・対話的で深い学びを創る授業実践の充実」に向けて、継続的に**授業改善**に取り組む姿

## 5. 研究のまとめ

### 成果

「主体的・対話的で深い学びを創る授業実践の充実」に向けて、経験の浅い教員の授業改善の意識を高めることができた。

OJTを取り入れた研修を提案し、研修の効率化を図り、継続的に授業改善に取り組む教員集団の基盤づくりができた。

### 課題

集団として継続的に授業改善に取り組むには、OJTを計画的に行い、更なる効率化を図る必要がある。

メンターチームのメンバー構成やマネジメントの精選を行うなど、OJTやマネジメントの仕組みを再考する必要がある。

## 5. 研究のまとめ

### 【今後の展望】

計画性

- 年度初めの所属校の研究計画にOJTの機会を設定する

仕組み①  
マネジメントの工夫

- 全教職員が自身の授業の課題を意識して、日々の授業改善や研究授業に取り組む

仕組み②  
研修観の転換

- 研修を知識伝達型でなく、ワークショップ型にする

## 5. 研究のまとめ

### 【ミドルリーダーとしての学び】



- 全教職員で「主体的・対話的で深い学びを創る授業実践の充実」を目指してほしい

校長

- 研究授業のときだけでなく、継続的に授業改善に取り組んでいきたい

研究  
主任



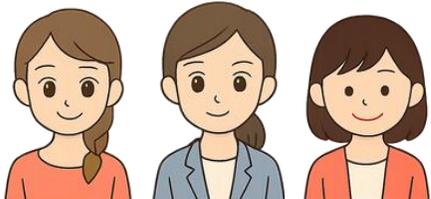
様々な立場の教員をつなぎ、願いの達成に向けて、**ともに**考え、行動する

経験の浅  
い教員

- 自分で研究したくてもなかなかできないので、身近な校内の先生から教えてもらいたい

学年  
主任

- みんなで授業について楽しく話して、自分も学びたい



## 主な参考文献

- 中央教育審議会(平成27年):「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)」
- 中央教育審議会(令和3年):「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」
- 林誠一・成瀬喜則(2021):「授業改善のための取り組みと教師教育のあり方について」富山大学人間発達科学部紀要 第15巻第2号
- 浅野良一(令和3年):独立行政法人教職員支援機構
- 横浜市教育委員会(2011):「教師力」向上の鍵—「メンターチーム」が教師を育てる、学校を変える!」時事通信出版局
- 澤井陽介(2022):「本当に知りたい」社会科授業づくりのコツ」明治出版